

新幹線プレス

2012年2月3日 No.28

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

専任社員任期満了を目前にした不当配転に抗議する！ 尾崎副委員長に対する東京駅不当配転抗議集会開催！

1月30日、東二運分会は尾崎副分会長に対する東京駅不当配転に抗議する集会を開催しました。集会には東二運の組合員はもとより、新幹線地本の各分会・OB会の50名の仲間がかけつけ、不当配転に対する怒りと共に闘う意思を全体で確認しました。

庭山分会長は「今回の事象の掲示が出されていない。にもかかわらず、再教育はおかしい」「しかも試験内容には既に削除されている規程まで出すなど、明らかに配転が意図されたものである」「会社が酒気帯びでっち上げ裁判で窮地に立たされ、それを挽回するためのなりふり構わない攻撃であり、全体で立ち向かっていこう」と力強い挨拶がありました。

その後、中央本部淵上委員長、新幹線地本成田委員長をはじめ各分会代表者、本部OB会から連帯のあいさつを受けました。

『配転はおかしいです！』他労組の仲間からの声が拡大！

尾崎副委員長は①「報復処分撤回裁判」(酒気帯びでっち上げ裁判)をつぶそうとする攻撃である。②職場を働きやすくしようとしている東海労への攻撃だ。職場では些細な事を含めミスが多発している。これは現場での異常な労務管理が原因である。第二の福知山線事故が発生する前に職場をつくり変えていこう。③ユニオン組合員からも『今回の配転はおかしいですね』と声をかけられた。自信を持って声を発していこう。と闘う強い決意が述べられました。



職場から反撃の取り組みを構築しよう！

尾崎副分会長への攻撃は、職場に芽生えつつあるユニオン組合員の疑問や反抗心を押さえ込むことを画策しています。名古屋で松山君が加入するなど東海労の訴えに共鳴するユニオン組合員が増えている中、尾崎副分会長とユニオン組合員との人間関係にいらだちを覚えたからこそ、今年7月に専任社員任期満了を迎える直前に強制配転の暴挙に出たのです。尾崎副分会長の不当配転に怒りを持ち職場から闘いをつくりだそう！